

平成 26 年度事業報告

1 総会の開催

平成 26 年 5 月 29 日(木)、総務省関東総合通信局 21 階会議室（東京都千代田区九段南 1-2-1）において関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会（第 1 号議案においては「NPO 協議会」という。）第 11 回定期総会を開催し、110 会員・26 名（うち委任状参加：84 会員）が参加し、「平成 26 年度総会議案書」のとおり決定しました。

2 幹事会の開催

全 4 回開催し、フォーラム等の内容や地域連携事業に関する事項等を決定しました。

第 1 回：平成 26 年 8 月 28 日（木） 総務省関東総合通信局（東京都千代田区）

第 2 回：平成 26 年 10 月 25 日（土） 電気通信大学（東京都調布市）

第 3 回：平成 26 年 12 月 6 日（土） 茨城県立図書館（茨城県水戸市）

第 4 回：平成 27 年 3 月 12 日（木） 総務省関東総合通信局（東京都千代田区）

3 普及啓発活動

(1) ICT 地域連携フォーラムの開催

ア ICT 地域連携フォーラム in 東京 2014（平成 26 年度情報通信月間行事）

（開催日）5 月 29 日（木）

（場 所）九段第 3 合同庁舎 11 階国共用会議室（東京都千代田区）

（テーマ）「災害に強い情報通信システムとこれを活用する情報団ネットワーク」
～被災地では、ローカル情報があなたを守る！～

（概 要）・基調講演 「首都直下地震の課題と対応：災害情報と防災行動パラドクス」
慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 大木 聖子 氏

・事例発表

「大規模災害時の通信の確保について」

独立行政法人情報通信研究機構 耐災害 ICT 研究センター ワイヤレスメッシュネットワーク研究室 室長 浜口 清 氏

・成果報告

防災調査研究実証試験成果報告「ICT 地域防災情報システムの検証」

関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会 防災調査研究分科会座長 丸山 高弘 氏

・パネルディスカッション

「災害に強い情報システムを官民で活用し災害情報を共有した防災まちづくりを考える」

コーディネーター：

関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会 幹事・NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 代表理事 杉浦 裕樹 氏

パネリスト：

調布市被災者支援ボランティアセンター 柴田 哲史 氏

インフォミーム株式会社 代表取締役 和崎 宏 氏

千葉大学大学院 自然科学研究科 教授 阪田 史郎 氏

藤沢市総務部 参事 兼 IT 推進課長 大高 利夫 氏

（参加者）117 名

イ ICT 地域連携調布フォーラム

（開催日）10 月 25 日（土）

（場 所）電気通信大学 東 3 号館 3 階 マルチメディアホール（東京都調布市）

（テーマ）「ICT を利活用して防災と地域情報の交流をどう進めるか」

（概 要）・基調講演 「情報化の進展と地域社会の防災・情報交流」

関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会 代表幹事

電気通信大学 特任教授 三木 哲也 氏

・講演

「地理情報の防災・地域活動への活用」

電気通信大学大学院 情報システム学研究所 准教授 山本 佳世子 氏

・「ICT 地域防災情報支援調布市フィールド試験の報告」記録 DVD 放映

関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会 幹事 NPO 法人調布市民放送局 長友 眞理子 氏

・事例発表

「調布マッピングパーティーの活動」

東京大学 空間情報科学研究センター 特任研究員 古橋 大地 氏

「AR アプリを使った一時滞在者・防災避難情報運用の実証試験」

NPO 法人 AR 防災避難情報 代表理事 古川 勝 氏

「AR を活用した広報について」

調布市 行政経営部 広報課 参事 城戸 雅幸 氏

・パネルディスカッション

「ICT を利活用して防災・地域情報の交流をどう進めるか」

コーディネーター：

関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会 代表幹事 三木 哲也 氏

パネリスト：

調布市長 長友 貴樹 氏

NPO 法人 AR 防災避難情報 代表理事 古川 勝 氏

東京大学 空間情報科学研究センター 特任研究員 古橋 大地 氏

電気通信大学大学院 情報システム学研究所 准教授 山本 佳世子 氏

関東総合通信局長 渡辺 信一 氏

(参加者) 84 名

ウ ICT 地域連携フォーラム in いばらき

(開催日) 12 月 6 日 (土)

(場 所) 茨城県立図書館 視聴覚ホール (茨城県水戸市)

(テーマ) 映像の力で地域を伝える

(概 要) ・茨城発の映画のプロモーションビデオ紹介

HAZAN、桜田門外ノ変、天心、カミスガ、ガールズ&パンツァー 等

・講演 「茨城県内の FC 事情と課題」

茨城県フィルムコミッション推進室長 後藤 久 氏

・パネルディスカッション 「映像の力で地域を伝える」

コーディネーター：

茨城県水戸市生涯学習センター・310+1 シネマプロジェクト代表 寺門 義典 氏

パネリスト：

カミスガフィルムクリエイティブプロデューサー 菊池 一俊 氏

映画波山製作委員会事務局長 鶴田 明 氏

「ガールズ&パンツァー」橋渡し役 常盤 佳心彦 氏

NPO 法人 GIS 総合研究所いばらき 事務局 中村 健太郎 氏

NPO 法人シネマパンチ代表・水戸短編映像ディレクター 平島 悠三 氏

映画「桜田門外ノ変」事務局次長・映画「天心」を上映する会 谷田部 智章 氏

(参加者) 59 名

(2) 会員の拡大

平成 26 年度中の新規加入はありませんでした。退会等は 3 団体 (会員 2 団体退会。準会員 1 団体は市町村合併による。) です。

これにより、会員数は、138 団体・個人 (<会員別> 正会員 : 95 団体・個人、準会

員：43 団体）となりました。（平成 27 年 4 月 1 日現在）

フォーラムの打合せ等で訪問した自治体等には、入会勧誘をしております。

現在、さくら市、那須町、下野市、足利市、水戸市等に入会の打診をしております。

また、関東総合通信局内の協議会ホームページ上に、セミナー等の協議会活動 PR 等に関する情報を掲載するとともに、NPO 協議会の Facebook については、利用ルールを作成し、活動報告等に積極的に掲載することで、会員の拡大に努めています。

(3) 会員に対する行事

幹事と会員との交流を図るため、関東総合通信局監視業務見学会を行いました。

ア 電波監視施設見学会

平成 26 年 8 月 28 日(木) 関東総合通信局電波監理部監視室 他 15 名参加

イ 宇宙電波・国際電波監視施設見学会

平成 26 年 10 月 10 日(金) 関東総合通信局三浦電波監視センター 中止

4 地域連携事業

(1) わがまち CM コンテストの今後について

ア 発展的解消をしたわがまち CM コンテストは、全国展開を図るため、NPO 協議会とは別組織により、全国版わがまち CM コンテスト（総務省後援）が開催されました。

一方、栃木県においては、独自に CM 作品制作講習会とコンテストを開催していたことから、継続の意向が強くあり、地域活動支援事業として、栃木県内限定の「わがまち CM コンテスト 2014 栃木大会」を実施しました。

イ これまでに蓄積されたコンテンツの二次利用は、次のとおりです。

(ア) 日本航空株式会社の海外向けサイトからの情報発信

【クールジャパン CM 編】の入賞作品は、協賛いただいた日本航空株式会社の海外向けサイト（英語版）に平成 26 年 3 月下旬から掲載中です。

(イ) わがまち CM コンテスト 2014 栃木大会 HP からの情報発信

作品募集に際して、参考資料として HP に掲載しました。

（栃木大会 HP）<http://matidukuri1.web.fc2.com/index.html>

(ウ) その他

小山市役所から栃木県の作品について CATV 行政 c h で放映しています。

(2) 地域活動支援事業

ア 横浜・神奈川オープンデータフォーラム（協力）

（主 催）横浜オープンデータソリューション発展委員会

（協 力）関東総合通信局、NPO 協議会、NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ

（開催日）6 月 16 日（月）

（場 所）神奈川県横浜市 横浜港大さん橋国際客船ターミナル CIQ プラザ

（参加者）232 人

イ AR 防災情報実証試験（協力）

（主 催）NPO 法人 AR 防災避難情報

（協 力）NPO 協議会

（開催日）8 月 24 日（日）

（場 所）神奈川県横浜市 元町商店街

（参加者）90 人

ウ タブレット (ipad) 講習会（主催）

(主 催) 関東総合通信局、NPO 協議会
(協 力) NPO 法人栃木県シニアセンター
(開催日) 10月9日(木)
(場 所) 栃木県那須町 那須町文化センター研修室
(参加者) 17名

エ わがまち CM コンテスト 2014 栃木大会 (主催)

(主催) 関東総合通信局、NPO 協議会、わがまち CM コンテスト栃木大会実行委員会

(ア) 作品募集

期間: 11月1日(土) ~ 11月21日(金)

応募作品数 栃木県部門 69作品、 PR 部門 9作品

(イ) CM 作品制作講習会

○宇都宮市 とちぎボランティア NPO センター研修室

第1回 9月10日(木) 9名参加

第2回 9月16日(火) 7名参加

第3回 9月30日(火) 5名参加

第4回 10月 8日(水) 6名参加

○小山市 まちなか交流センター 2F 研修室

第1回 11月 1日(土) 10名参加

第2回 11月14日(金) 7名参加

(ウ) 表彰式「わがまち CM コンテスト 2014 栃木大会表彰式 in 野木」

(開催日) 1月24日(土)

(場 所) 野木町役場 新館2階 大会議室(栃木県野木町)

(概 要) ・基調講演 「まち映画をつくろう~映画製作を通じて地域のご縁づくりを~」

映画監督 藤橋 誠 氏

・わがまち CM コンテスト 2014 栃木大会応募作品紹介

栃木県部門 69作品、PR 部門 9作品

・アトラクション

・審査結果発表・表彰式

栃木県部門

最優秀賞、優秀賞、入選、努力賞、奨励賞、野木町長賞

PR 部門

最優秀賞、優秀賞、入選、努力賞

(参加者) 153名

オ 地域情報化フォーラム (主催)

(主 催) 関東総合通信局、NPO 協議会、山梨県立大学、やまなし ICT 利活用教育研究会

(開催日) 2月7日(土)

(場 所) 山梨県立大学飯田キャンパス (山梨県甲府市)

(テーマ) 未来思考の地域の学び~ICT を使った教育による地域活性化の試み~

(概 要) ・ポスターセッション(1)

・基調講演 「人は見えない目でどう未来を見てきたか？」

山梨県立大学長 伊藤 洋 氏

・ポスターセッション(2)

・模擬授業

「小学校教員養成課程の学生による出前授業」

山梨県立大学 教授 池田 充裕 氏、八代 一浩 氏
 「郷土再発見 残そう竜王遺産」
 甲斐市立竜王小学校教諭 伊東 恵子 氏、増坪 広夫 氏
 「edutab を使った協調学習の実践」
 甲斐市立竜王小学校教諭 今津 裕也 氏、清水 仁 氏
 鈴木 方子 氏

・ポスターセッション(3)

・フューチャーセッション「地域連携と教育」

コーディネーター：

山梨県総合教育センター研修主事 久保田 勲 氏

パネラー：

甲斐市立竜王小学校教諭 増坪 広夫 氏

山梨県立大学国際政策学部 准教授 安達 義通 氏

山梨県立大学国際政策学部 学生 長谷川 拳杜 氏

山中湖情報創造館長 丸山 高弘 氏

甲斐市企画政策部秘書政策課長 内藤 博文 氏

昭和町教育指導監 守木 貴 氏

(参加者) 171 名 (フォーラム 111 名、模擬授業参加児童 60 名)

カ インターナショナル・オープンデータ・デイ 2015@横浜 (後援)

(主催) 横浜オープンデータソリューション発展委員会

(開催日) 2月21日(土)

(場所) 横浜港大さん橋国際客船ターミナル及びその周辺地域

(概要) 「オープンデータからオープンイノベーションへ」をテーマに、ワークショップ、まち歩き、セミナー、パネルディスカッション、展示を行う。

(参加者) 221 人

キ まちづくりシンポジウム (主催)

(主催) 関東総合通信局、NPO 協議会、NPO 法人ワークズ・コレクティブたすけあい大地、まちかど美術館異業種交流まちづくり勉強会

(開催日) 3月28日(土)

(場所) 小山市まちなか交流センター「おやま〜る」研修室 (小山市)

(テーマ) 渡良瀬遊水地の魅力を発信しよう!

(概要) ・講話「渡良瀬を撮り続けて 23 年」

東京新聞編集局写真部 編集委員 堀内 洋助 氏

・わがまち CM コンテスト 2014 栃木大会入賞・入選作品 & 渡良瀬遊水池をテーマにした作品上映

NPO 法人栃木県シニアセンター 代表理事 荒川 恒昭 氏

・小山市の取組発表「渡良瀬遊水地の賢明な活用」

小山市企画財政部渡良瀬遊水池ラムサール推進室 篠原 正 氏

・セッション「渡良瀬遊水池の再生と利活用」

コーディネーター：

宇都宮大学教育学部住環境・まちづくり研究室 教授 陣内 雄次 氏

パネラー：

東京新聞編集局写真部次長 堀内 洋助 氏

ラムサール湿地ネットわたらせ 事務局長 浅野 正富 氏

熱気球パイロット 藤田 雄大 氏

NPO 法人栃木県シニアセンター 代表理事 荒川 恒昭 氏

(参加者) 95 名